

綴じ部（喉部分）の文字等が開きが不鮮明な箇所あり

鴨河集附録

詠史歌下

贈中將

橋正成卿

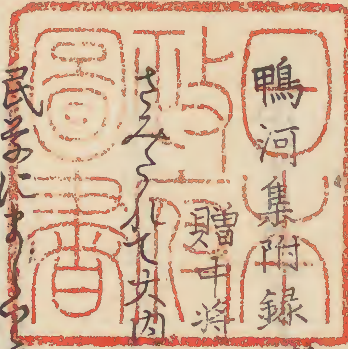
力石重遠

直養

廣道

芳樹

光秋



淺草文庫

Handwritten Japanese text in vertical columns, including the names of the recipients listed on the right.

物々しくもくもく乃赤坂ふせりかひをし獲きたりしを

舟曳大滋

かきくもれちもやのみまの白藤ふらうさちそらひもれりけれ

勢

いぬちのうねもこのかきしれいれも海にけいさくそり井の里

雪臣

もれ物乃みちれうみちたち志のほりもふかきてんれうちりね

嶋 憲元

万代も居のかえとみまの川をよれそれ名を四方りなうれて

拙誠

嶋附下

この罪がふまうさうそせみまの川をうれてのうれうえかあを

飄齋

みねと川へーとまききいれいれんちれやぬゆこのいさだうもかぬ

八束

いもや川をいれいれちやぬやあきふちうれく水うらうとれいめ

正木通亮

下にいもやあきふちうれとみねと川、いさだあくそせ身とハコをこえん

美隆

いれまはほひの命れかを川うひられちあきなうれうちん

神吉弘範

つとほやきくたふらねを... 継りかたしむりもわたりぬる人のし

林 政幹

あはれさうひさかき... ねさのあやとらうあはれさの世にの... ね

捕正之 秋平

捕れちもあひさし... かりねとやうく風ふりあうりも

捕正儀 信友

そこの... ねらうあ... ねらうあ... ねらうあ

勢

よ... せ川ふらねを... ねらうあ... ねらうあ

新田左中將源義貞卿 信古

鴨村下四

あひ回ひ一本... ねらうあ... ねらうあ

美隆

うた... ねらうあ... ねらうあ

永章

あや... ねらうあ... ねらうあ

勢

あや... ねらうあ... ねらうあ

櫻 東雄

あや... ねらうあ... ねらうあ

蔚也

河へ後北陸道に名をうけしはつひのこゝろにまゆむらさきをり
みくればれよきまへに

勢

ちあはれは清和天皇の御代にまゆむらさきをたてまつりしに
舟よれば

素村

舟よればよきまへに大天原にまゆむらさきをたてまつりしに
船よれば

弘範

船よればよきまへに大天原にまゆむらさきをたてまつりしに
船よれば

榎本寛蔭

船よればよきまへに大天原にまゆむらさきをたてまつりしに
船よれば

鴨附下六

あはれは清和天皇の御代にまゆむらさきをたてまつりしに
船よれば

伴雄

千廣

あはれは清和天皇の御代にまゆむらさきをたてまつりしに
船よれば

勢

あはれは清和天皇の御代にまゆむらさきをたてまつりしに
船よれば

伴雄

あはれは清和天皇の御代にまゆむらさきをたてまつりしに
船よれば

高雅

あはれは清和天皇の御代にまゆむらさきをたてまつりしに
船よれば

三積

肥後守武重朝臣

伴雄

顯周

これよりいふまゝのまゝにたゞしきまゝに佛をなごりて

高師重

白石元重

よき言をたゞしきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝに

宇野阿王

岩本義親

わらわのまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝに

土岐頼貞

嘉猷

とよきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝに

鴨附二十

細河頼之朝臣

務

これよりいふまゝのまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝに

細河勝元朝臣

有彰

水よきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝに

太田道灌入道

春臣

やよきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝに

信古

のゆきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝに

足利義政將軍

伴雄

わらわのまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝにたゞしきまゝに

豊頼

古屋菅賢

清夫

あつらひにせしむるをわがまをてりしんもむかひのり者なり
よはりのよれとせしむるをわがまをてりしんもむかひのり者なり
世に中とまるとかゝるむら町の唐園をわがまをてりしん
周防の多賀社司の家よりはくもたるは利
將軍より里給するを大内義隆主のひか
もたまりしむる開運珠とつふふをてりし

勝間田盛捨

鴨村下井

嘉永三年九月はいぬもつら大内義隆卿
の三百年忌山口まね龍福寺かて行ひしをわ
殿より香花の御使よりか御詢全善有
はそまゝして長門の深川の里にて自教し給へ
さそひしむるもたひはれもまも中をり
さそひしむるもたひはれもまも中をり
死にたれしむる冷泉隆豊もまかぬ冷泉古風
とほりまゝしむる古風山口よこゆりしのも
わのり高とまゝしむるはの場のちをれなりし

山をけやがうまらるるにそりしる月の影ほの
わらうまうらうはるるれいようん

芳樹

又よやま川霧を魚さくくもれあも月に若れ影をあらん
上杉謙信入道 信友

ゆくまればらやまうらたまはし川中まの水けし波
飄齋

まの川やまらほくはれさうはみせくはらうまかひあかた
務

よれ人らうらへうまやうらみねと越のまらゆまひのうらうら
野史竟宴より上杉謙信と 伴雄

鴨村下上

ふれらうらうまはさなた川がらうらまらうまらうまらうまら
謙信入道月と又て詩はくまら

千浦

風りちれゆまらるるまらにあらうまらうまらうまら
方雄

宇佐美貞行

せうれらうまらねらうまらねらうまらねらうまらねらうまら
信友

武田機山入道信玄

はれれはらやゆらたのほかひまなく一よまられまのまら
有彰

有彰

うらまられよのあらうまらうまらうまらうまらうまら
務

務

繁里

わろしは扁御と申すはこれらに記すは世に傳へりては

菅賢

そしはゆふ名古屋縣の權多くありてはたかくはゆふ

樽井と云子

大なるはゆふおねうたなりたはゆふをゆふと申すは

岩崎利記

ゆふのゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

有彰

ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

隅田下

幸年

ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

伴雄

ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

勢

ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

文雄

ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

勢

ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

從三位法印細河齋

大君ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

筒井順慶

守城

たけのこもれやうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

佐々木春夫

すゝめ八もももれやうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

竹中重治

秋岡守達

いかにふまはしなうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

柴田勝家

芳樹

あつちやうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

伴雄

あつちやうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

鳴附下は

門脇重禮

ほろろさなあく一あふゆまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

横井時敏

こあちや小谷ももれ白雪となもてんうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

伴雄

佐久間盛政

せふさくがあわくらりなむらうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

春臣

蜂須賀家政

いさねよさもれやうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

繁里

清水宗治

せふさくがあわくらりなむらうらやまのふれ中ふまはしなうま雲の一むら

中岡重治

中河清秀

伴雄

中河清秀の詩は水地切るといふもやうな余吾れ海多し

森蘭丸

平川保明

いよもかや名をかきし記業の多しゆに身はうけか

浮田秀家

治堅

指於れしうにひんゆし名をうさむ田乃杜の志あは

加藤清政

飄齋

かこ強のさやうさむおをれてまの業もさむりうう系

芳樹

るも程の月れおろしきむれはうれぬまかきさうう系

鴨附下七

正明

伏見山月のかりにしくも傾きうれもろしけれとん多し

釋 孝敬

もろしけれとん多し目のものぬまひうしゆさうとそんれ

伴雄

もろあしにそひまきしひし目のもの扁てふ郭をけこくあり

清正朝臣朝鮮の役おて不盡山えたるあ 幸年

沐風ふりあくとんもはゆのこのゆりやをさうりたはるしう系

尾桐且元

飄齋

すしうまどとらふらふらにそしけくまおのそりてゆにそむさわ

有彰

伴雄

飄齋

太田尊信

飄齋

鶴附下大

酒さわくあゝぬと出く水ももこころおかしきものうはあふ

長からぬかろうはくさうつくたひかへまへも物かひをらん

九度山乃櫛しりささやうひくさには大塚小冬こころらん

うちあんならたさうひるれあふりけを流いうねる多むきん

とくしとを美かゆさうひきまをれてふ目れあやせにをさる記

美親

伴雄

森田良道

飄齋

大平

清ひふちれ一もれ桐しりささたぢあはの浪とらさう

いふはとそ松さひふささう大流乃かともあそくやせふひささう終

まんの粟れ山とらささういふれきにをれあそま志のくさう

くれいけれあそまきさういふらうて月よあそまあそまひらん

歌人 柳本入磨

かたうたれゆきりそれ身ハ下如うしこもれ葉言くうらふこ林

長流

ささきとれさひらふゆくちんれ木幡り馬ハさくさくさく

契沖

さきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

高尚

うらむれさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

務

みせうた根ささきさきさきさきさきさきさきさきさき

大平

山部赤人

三十九

下にさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

契沖

あきの海さきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

秋實

さきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

有彰

世にあさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

務

さきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

契沖

装磨太夫

兼はるもくくくしてゆいけいもみはれどばいれうさひま

大友黒主 中山美石

かみじろくぬ身れあもまもくくくくくくくくくくくく

豊穎

火とこのあつはなぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

安民

うみいしあめれぬのゆきたちよあてせともくくくくくく

清澄

かえんういぬくあつのはりゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき

文室康秀 村田春門

うぬこつれらやゆらうくくくくくくくくくくくくくくくく

中納言兼補卿 契沖

子とあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつ

紀貫之朝臣

紀のふれはけくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

長流

紀のうきささけの海すてかひははらやゆきゆきゆきゆき

宣風

かみぬれはくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

丹羽秋風

やまといちいし池のほとりてあはれしむらさき花のうらみありての春

紀友則

勢

秋の夕べにこのしほのうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

元河内躬恒

契冲

あはれしむらさき花のうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

壬生忠岑

あはれしむらさき花のうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

勢

あはれしむらさき花のうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

壬生忠見

契冲

あはれしむらさき花のうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

藤原敏行朝臣

あはれしむらさき花のうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

中納言敦忠卿

あはれしむらさき花のうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

藤原元真朝臣

あはれしむらさき花のうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

源宗于朝臣

あはれしむらさき花のうらみありてあはれしむらさき花のうらみありての春

平兼盛朝臣

人志我れいおひあえ川ゆきをれいはくくあめられあをわたり
通亮

通亮

藤原興風

あれよふあふききあふじしあめあ言妙れねのまの糸
契沖

契沖

源公忠朝臣

ほろれい山陰くみくきまわもきうありまのりあめあ
坂上是則

坂上是則

きとえり芳登れ里のねちくあまのりあにのまこのえ
藤原清正朝臣

藤原清正朝臣

天の風ゆきひの浦の沖つ浪のそやああて立ゆきれん
藤原仲文朝臣

藤原仲文朝臣

ゆのちとあゆくせつりもまねら名を秋乃よれあつれあ

源重之朝臣

名とや川やわきの思とりの浪ふれあひくまあやこのふ

五條三位俊成卿のあ

景樹

あまあ乃あれあひりつりあにあさその名もあがらけや

高尚

あちよあはのふくまろ二あああああああああああああ

京極中納言定家卿

務

秋の白乃あち種あいのかりああああああああああああ

豊頼

ほろろと泣きぬぐふ涙の跡をよみしるは
伴雄

ちかちかの世の河を流す舟の影を
勢

五郎時致

いづれかきつりしうねりも
信近

謡物の小袖曾我とつゝを
信近

卯の好る香とくさくさ
冷泉 古風

日野阿新齋

堀こゆれぬよふちと海を
秋平

交りや身とくさくさ
勢

藤をよみし葉と村
伴雄

ほろろと泣きぬぐふ涙の跡を
伴雄

義勇

壹伎直真根子

かちかちと竹の葉を
伴雄

調吉師伊企難

今まににかなはぬ
伴雄

大石良雄

治堅

世より乃ふまはつてを〜

諸熊好足

年月よりいふは〜

澤 温夫

〜控〜

務

〜

善水

おれ〜

鴨村下六

有影

〜

伴雄

〜

秋平

良雄の慶宅の瓦とん〜

柳田美卿

良雄の自らか〜

芳樹

良雄の善海の里〜

なれ里

よむあはれさしはらむねあきかたにさくさくあはれさるる

治堅

こころのつらさあはれさるるあはれさるる人のあはれさるる

夜通姫

景樹

こころのつらさあはれさるるあはれさるるあはれさるる

菅彦

らたてさるる血泪のあはれさるるあはれさるるあはれさるる

敦定

あはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるる

齋院有智子

務

鴨附下女八

あはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるる

伊勢御

契沖

あはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるる

大平

あはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるる

豊臣北政所土呂子

美知

あはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるる

有彰

あはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるるあはれさるる

二位禪尼

長穂

何れ身の内にとりてはち程世を... 廣道

小野小町

大平

きつりせしこれ世の... 壺磨

壺磨

物心とならぬ... 高井八穂

高井八穂

いづれ女の世に... 高溪

高溪

ねんせいの... 方雄

方雄

赤松大信

いづれもん末に... 廣道

廣道

浪さるゝ... 林 淇園

林 淇園

と世布水... 保成

保成

うら子れ... 大田垣知足

大田垣知足

何れも... 廣勅

廣勅

大かきりきりおおと多うをねやせしと茶乃根くねん

菅賢

あれをさうされ中乃一とやあたるあをゆうとね

勢

あをさねん乃をちけり終の老う海程とさへ

佐伯隆磨

いそらもていれあうした乃下うねりあをのちあわね

中勢

契沖

いそらうらひのまのいひとさねらにものさねか

和泉式部

伴雄

いそらうらひのまのいひとさねらにものさねか

小式部

勢

大いそらうらひのまのいひとさねらにものさねか

赤染衛門

あをらうらひのまのいひとさねらにものさねか

繁里

あをらうらひのまのいひとさねらにものさねか

清少納言

青木永古

あをらうらひのまのいひとさねらにものさねか

内遠

とて馬れりぬるに無とつり名をちりせとてかきとてつゝとてあや

青木春臣

ほそ人なりかきとてさすふの業れせとてたたるゝとて此尾城

伴雄

そあれつりふかりしをもれ無抄人乃おもてもたれしつゝとて

小谷昌守

門たつてつぬしから乃ゆもとておんをむとてつゝとて春れつゝとて

治堅

此君せしむるにこゑ人しつゝとてゆもたれ無抄人乃おもてもたれしつゝとて

廣伴

腰たつとてさしむるにこゑ人しつゝとてゆもたれ無抄人乃おもてもたれしつゝとて

正方

あはれつゝとてゆもたれ無抄人乃おもてもたれしつゝとて

依平

かきとてさしむるにこゑ人しつゝとてゆもたれ無抄人乃おもてもたれしつゝとて

凌山可清

うねとてさしむるにこゑ人しつゝとてゆもたれ無抄人乃おもてもたれしつゝとて

紫式部

大平

さしむるにこゑ人しつゝとてゆもたれ無抄人乃おもてもたれしつゝとて

永章

あはれに地りしをわたりてはなほしむとされと世あやぐりて

永吉

らやあやうきうきうたしく丸ひさつねらりてせむし枝の板を

務

あつひさしむもむらさけ摺衣はあかかうねに帯ゆくようそ

伴雄

さうはうらぶゆふくろのうみふたひさし人もの世なりん

業合大枝

清はりのれわろの中ふもあやうきや日本御書と名ふかすらん

依平

紫式部石山寺あけ月らん

あふやわぬうらあまをてあはれふもくさうかたの願葉乃海浪

小大君

実冲

あしきれうかた橋名あはしてこそをれあをあはくはやたと

小督局

中島廣足

ねもほろひひきとあうくことのもれさししもはらうとねをれ乳

美郷

月にかうらう空の松乃秋ゆもあまのりしはしきあうあえん

風見輝興

あまのりしきむうたを絶今もあはれあうきあの月とえん

中林古樹

きよあきよひさし〜もれを世中れはるるの家にねりてけうを
利記

くのおもてむかひていん有御をてゆ〜もれはねのそり
大井清海

かくれよひ後極をれ家乃や〜程を井よとていさりり
齋藤彦磨

のう程〜おそさやかふいとていさりり〜せりりれり
元興

秋とつひとて〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
仲國朝臣小督局に住所なきなるか
濱臣

鴨附一三

あやまをれ〜とちかか〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
小督局に墓所あり
景樹

とちかか〜とちかか〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
小侍従

昔中にあり〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
昔蒲前
大枝

〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
播磨の地らにあやまれあり塚あり
昌守

〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
かれふ人乃れ〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
昌守

〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
〜程〜おれあやまれや〜か程のまはるのやちり
昌守

小宰相

勢

ゆきかきぬお谷川の丸木うしちひるれ海のそととらと翁や

句當内侍

八束

あさひのぬわく風はさくらちのたももあはれとてけり

永章

きんぎょのこころもあはれいづれもたまたまのあはれ

常盤前

宣長

あさきれいづれもあはれいづれもあはれいづれもあはれ

大平

あさきれいづれもあはれいづれもあはれいづれもあはれ

鴨田下廿四

景樹

あさきれいづれもあはれいづれもあはれいづれもあはれ

美卿

あさきれいづれもあはれいづれもあはれいづれもあはれ

畑中重穂

あさきれいづれもあはれいづれもあはれいづれもあはれ

有彰

あさきれいづれもあはれいづれもあはれいづれもあはれ

野井安道

あさきれいづれもあはれいづれもあはれいづれもあはれ

古樹

伊澤主呼

寛之

原弘濟

美隆

鴨附下五

うらなふとてふとてわんはたうれ折の事ふしほしとゆとふや
とれをホレ一もいふおふとて絶頂の事とてうんたてえや
とて整ふれおのふとてとておのつら本おの事とておのつらお
ゆとてにうちなせうれとておのつらおのつらおのつらお
はてん下根をわんはたのつらお一もとておのつらおのつらお

内藤正義

久保信成

西村久浮

憲元

並河饒石

そがはたわんはたのつらお一もとておのつらおのつらお
みおがらわんはたのつらお一もとておのつらおのつらお
あま〜あまおれ命とておのつらお一もとておのつらお
うらなふ〜おのつらおのつらお一もとておのつらおのつらお
ま乳根のつらおのつらお一もとておのつらおのつらお

依平

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

巴女

古風

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

原 久胤

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

瀬田貞固

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

依平

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

鴨附下共

春夫

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

秋

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

橋本本資

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

伴雄

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

板額女

矢野正胤

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

梶原景季妻

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

梶原景季妻

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

梶原景季妻

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

梶原景季妻

あはれやこれこそおぼしき心なりけり

勢

なほもぐくまげちの頃さかむ様をくらうらむもにらふを
大かきとまじし松根の下が葉にのこさぬあふれぬさうらも

松下禪尼

千代能尼

景樹

人志終はこころれをりやうしたる海をさのりもたつたる
依平

谷れわくろそとまゆり月影の谷とつをむう阿佛尼の
鎌倉の月影の谷とつをむう阿佛尼の

よるれあふふらんそとつゆさこ

鶴村下世

中西多豆伎

自かきれちりし種お浪あふと種ひうきつうあふらん

賀茂神主基久女

八束

ちかきとまじし松根の下が葉にのこさぬあふれぬさうらも

淀君

有彰

ちかきとまじし松根の下が葉にのこさぬあふれぬさうらも

貞婦

田道妻

守城

なほもぐくまげちの頃さかむ様をくらうらむもにらふを

伴雄

海軍少将 上毛野臣形名妻 千廣

入道 春臣

引田邊赤猪子 市岡猛彦

方朗

松浦佐用媛 伴雄

鴨村下世八

上野 勢

小野方

伴雄

正方

左將軍將子 勢

こゝろをいへばかたはれうゝふかへてせむいふめのみせん大和のちのち

静女

正典

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

中村豊足

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

水守春樹

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

務

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

菅沼斐雄

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

廣道

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

春夫

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

美郷

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

伴雄

こゝろおもひにせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむせむ

長田美年

ねあつゝもやにほくともふならんや又乃をばさしとるはれを

伊賀局

えよゝわらぬ思ふも通しゆわ川不流くふもく橋ついでん

細川忠興朝臣妻

みねゆをれ細川にりくほふくねむくふらぬあそくこれあ

飄齋

とみねへくもくねむねむくもくもくもくもくもくもくもくもく

遊女

上総末之珠名

かた門ありくふあそくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

梶取魚彦

鴨村下四十一

櫻兒

長流

えと鳥ねゆくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

鬘兒

みかへれはり下もくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

真間手兒那

内速

あつひりくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

檜垣姫

高雅

くむとつりくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

信近

くもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

佛女

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

清

ほろろにほろろをほろろほろろほろろほろろほろろほろろほろろ

勢

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

信睦

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

有彰

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

正方

横笛

鴨附下里三

熊野

春門

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

岡平保

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

信近

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

雪臣

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

景樹

ほろろのうらみかきこもよほふと入あしほろのほろろをほろろ

謡曲地中ちの熊野と

長延

よきよきおの車ゆきりしをよきよきおの徳ゆきらん

龜菊

務

ゆるきんふれをさしれきよきぬをれ下とせききうけしをき挽

江口君

春門

おほの宿やゆめいしきと花きりくはるおほの徳ゆきらん

信近

おほのよきはゆめいしきと花きりくはるおほの徳ゆきらん

廣道

おほのよきはゆめいしきと花きりくはるおほの徳ゆきらん

鴨附下里田

良臣

よきよきおの車ゆきりしをよきよきおの徳ゆきらん

地獄

有章

おほのよきはゆめいしきと花きりくはるおほの徳ゆきらん

方伎

嘉猷

おほのよきはゆめいしきと花きりくはるおほの徳ゆきらん

白箸翁

小川萍流

おほのよきはゆめいしきと花きりくはるおほの徳ゆきらん

巨勢金函

大平

おほのよきはゆめいしきと花きりくはるおほの徳ゆきらん

博雅三位

木をこぼすてれすれ象にうたをたかしくしそとてをて

浦鳴子

魚彦

鯉はまたひつちほしちりてわききりてあふらん

春海

ふゆかへてたこりていそんをささるゝふもはらふりて

繁樹

りいんねきこもれほしくあふに余村れ浦松苔む

長徳

二人あしをれそよもあしをりてをりてをりてをりて

勢

野村下四十五

こころにこれけりよとてをれをゆめぬとてのりれをがき

野村静入

ねろろあまのをそけりてあふりてけをそに今も

坂本秋郷

ちをりてそれをりてあふりてあふりてあふりて

小野機

余村れにうたをりてあふりてあふりてあふりて

内遠

あふりてあふりてあふりてあふりてあふりて

蟬丸

契沖

河内... 曾呂利新左衛門

曾呂利新左衛門

芳秀

... 有彰

有彰

... 釋氏

釋氏

役小角

宣風

傳教大師

福田和夫

... 伴雄

伴雄

... 弘法大師

弘法大師

萍流

... 真平

真平

... 清

清

... 花山僧正

花山僧正

太平

... 太平

太平

犬塚正雄

井上高翰

石津亮澄

春夫

契冲

鶴田下栄八

うららかにあそびてはなれぬとて

ねのほどよきほどにちかづくらん

世もあふみのむらもなきらん

のうららかにあそびてはなれぬとて

うららかにあそびてはなれぬとて

勢

和夫

勢

伴雄

有彰

白とあそぶらん

空也上人

圓昭法師

伴雄

有彰

かたうららかにあそびてはなれぬとて

かたうららかにあそびてはなれぬとて

丹羽氏曄

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

并慶三井寺の大鐘さくらさくら

美隆

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

伴 権

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

西行法師

嬰 興

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

春 雄

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

鳴附下平

尾関勝清

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

芳 秀

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

宣 風

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

方 雄

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

勢

いづれもふらり川はらりてよまふとて自由はそとにけり

有彰

伴雄

一休和尚

姦臣

石田三成

飄齋

信古

文雄

直養

叛臣

子割道鏡

信支

秋實

Handwritten text in cursive script (kuzushiji) covering the main body of both pages.

大御代壽
和田正主
伴雄

長澤衛門編輯

嘉永六丑年

江戸書林

山城屋佐兵衛

鴨附下辛九

